

平成27年度 袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価

「袖ヶ浦市第3次図書館サービス網計画」〈5〉サービス目標 より

「図書館は、そのサービス水準の向上を図り、図書館の目的及び社会的使命を達成するため「数値目標」を設定し、各年度の図書館サービスの状況について、図書館協議会の協力を得つつ、「数値目標」の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うとともに、その結果を市民に公表するように努めます。」

評価基準	A : 計画どおりに実施でき、一定の成果があった。達成率 80%以上。
	B : 課題はあるものの、概ね計画どおり実施できた。達成率 60%～80%未満。
	C : 不十分な点や課題が多く、計画通りに実施できなかった。達成率 60%未満。

平成28年9月
袖ヶ浦市立中央図書館

「第3次図書館サービス網計画」上半期（平成23～27年度）サービス目標－評価指標／実績推移

目標	サービス評価指標	目標値(H.27)	実績(H.23) *計画初年度	実績(H.24)	実績(H.25)	実績(H.26)	実績(H.27)
① 資料及び情報の収集・提供等	① 図書購入タイトル数(タイトル/年)	20,000	12,997	13,753	11,350	11,330	11,317
	② 蔵書数(点)	640,000	662,481	682,772	694,640	705,665	715,437
	③ 市民一人当たりの蔵書数(点/人)	10.0	10.8	11.1	11.2	11.4	11.5
	④ 袖ヶ浦市関係資料の受入冊数(冊/年)	250	288	255	518	344	268
	⑤ 年間利用者数(人/年)	155,000	141,807	138,039	131,394	133,706	151,942
	⑥ 市民実質利用率(%)	30.0	18.9	18.1	17.5	16.7	16.5
	⑦ 市民新規登録者数(人/年)	2,000	1,288	1,044	1,026	1,052	1,046
	⑧ 市民登録率(%)	60.0	48.6	47.9	47.0	46.1	45.1
	⑨ 資料貸出数(点)	720,000	672,025	650,350	617,714	594,661	583,404
	⑩ 市民一人当たりの貸出数(点/人)	11.5	10.9	10.6	10.0	9.6	9.4
② 社会情勢の変化 に対応したサービス	⑪ 一日あたりのホームページアクセス件数(件/日)	250	257	210	211	238	271
	⑫ 一か月当たりのWeb予約件数(件/月)	2,100	1,947	2,089	2,135	2,006	2,140
	⑬ 学校図書館への対応						
	・ 学校への団体貸出 (冊/年, 除籍資料のセット貸出を含む)	10,000	7,927	5,194	4,924	4,752	6,015
	・ 学校への出張おはなし会(人/年)	8,000	6,068	5,963	5,882	5,792	5,777
⑭ レファレンス件数(件/年)	500	361	305	372	669	795	

目標	サービス評価指標	目標値 (H.27)	実績 (H.23) *計画初年度	実績 (H.24)	実績 (H.25)	実績 (H.26)	実績 (H.27)
③ 利用者に応じたサービス	⑮ 児童サービスの充実						
	・ブックスタート(回/年)	12	12	12	21	26	26
	・わらべうた・えほんのへや(回/年)	35	27	34	37	34	36
	・おはなし会〔館内〕(回/年)	85	71	77	71	95	103
	・おはなし会〔館外〕(回/年)	300	390	392	374	359	371
	⑯ 青少年サービスの充実						
	・お薦め本リストの発行(回/年)	2	0	2	2	2	2
	⑰ 高齢者サービスの充実						
	・大活字本所蔵タイトル数(タイトル)	700	698	918	979	1,020	1,057
	⑱ 障害者サービスの充実						
	・宅配サービス(冊/年)	150	237	244	256	322	408
	⑲ 図書館ボランティアの育成						
	・おはなし会ボランティア(名)	50	25	31	32	22	19
	・朗読ボランティア(名)	20	5	5	4	4	4
・ブックスタートボランティア(名)	30	13	20	17	15	13	
⑳ 来館者満足度(%)		75.0	アンケート未実施 (隔年実施)	73.4	アンケート未実施 (隔年実施)	61.3	アンケート未実施 (隔年実施)

注) ⑥ 市民実質利用率＝「年間に1回以上図書館資料を借りたことのある袖ヶ浦市民」÷「袖ヶ浦市人口」

⑮ ブックスタートが平成24年度までで廃止となったため、平成25年度以降は後継事業「すきすき絵本タイム」の実施回数を記載。

⑲ ブックスタートの廃止に伴い、平成25年度以降は後継事業「すきすき絵本タイム」のボランティア人数を記載。

- 評価基準** A : 計画どおりに実施でき、一定の成果があった。達成率 80%以上。
 B : 課題はあるものの、概ね計画どおり実施できた。達成率 60 以上 80%未満。
 C : 不十分な点や課題が多く、計画通りに実施できなかった。達成率 60%未満。

サービス目標（1）資料及び情報の収集、提供等

平成 28 年 4 月 1 日時点市人口 62,147 人

サービス内容	H. 27 年度 取り組み内容	サービス指標	目標値 (H. 27)	実績 (H. 27)	内部評価
<p>「袖ヶ浦市立図書館資料収集規程」及び「袖ヶ浦市立図書館資料選定基準」に基づき、資料の整備に努めます。</p> <p>収集計画は、利用者に常に最新の資料が提供できるように留意し、人口 1 人当たり 10 冊を基本に 640,000 冊を目標とします。</p> <p>なお、図書館・図書室の資料の構成は印刷媒体の図書を中心に、必要に応じて資料の電子化を図るとともに、電子資料の収集に努めます。</p> <p>また、図書館では地域の課題解決や地域文化の保存の観点から、雑誌記事や新聞記事、地域資料や地域の機関や団体が発行しているパンフレットやチラシも積極的に提供します。</p>	<p>・選書の際は複本購入を極力減らし、幅広いタイトルの収集を図った。予約の多い資料についてはホームページや館内掲示等で寄贈の呼びかけを行った。</p> <p>(参考)</p> <p>個人の寄贈</p> <p>H 2 5 年度 1 4 8 冊 1 0 2 タイトル H 2 6 年度 1 6 6 冊 1 6 0 タイトル H 2 7 年度 1 6 8 冊 1 3 2 タイトル</p> <p>・中央、長浦、平川において、文芸講座の内容に合わせるなど時宜的なテーマで図書を紹介し、特設コーナーを設置した。(年 1 2 回)</p> <p>また特設コーナーのテーマに関連した図書リストと調べ案内を各 2 種類作成し、ホームページに掲載、配布した。</p> <p>(参考)</p> <p>特設コーナー図書の貸出冊数</p> <p>H 2 4 年度 3, 1 8 4 冊 【中央・長浦】 H 2 5 年度 3, 7 4 1 冊 【中央・長浦・平川】 H 2 6 年度 4, 0 3 4 冊 【中央・長浦・平川】 H 2 7 年度 3, 8 1 5 冊 【中央・長浦・平川】</p>	①図書購入タイトル数 (タイトル/年)	20,000	11,317	B
		②蔵書数 (点)	640,000	715,437	A
		③市民一人当たりの蔵書数 (点/人)	10.0	11.5	A
		④袖ヶ浦市関係資料の受入冊数 (冊/年)	250	268	A
		⑤年間利用者数 (人/年)	155,000	151,942	A
		⑥市民実質利用率 (%)	30	16.5	C
		⑦市民新規登録者数 (人/年)	2,000	1,046	C

<ul style="list-style-type: none"> ・特設コーナー以外にも、三学大学の講師の著作や話題の本、時宜的なテーマの資料のリストをホームページに掲載し、図書館内においてもミニ展示コーナーを設けた。 ・利用案内を転入者へもれなく配布するため、市民課、長浦・平川行政センターで転入者に配布するセットに組み込んでもらうよう依頼した。 ・長浦駅の掲示板に、市内各図書館・公民館図書室の案内及び著者を囲む会のポスターを掲示した。 ・県立袖ヶ浦高校に配布する青少年向け図書案内ティーンズトシヨロ41号の裏面に、中央図書館の館内紹介等を掲載し、生徒に配布しPRを行った。(41部×21クラス=861部) ・秋のトシヨロ月間において、普段利用されることの少ない大型本やマニアックな図書などを展示し、利用の促進を図った。また、公民館図書室においては大人向けに「本のおたのしみ袋」を各30袋用意し、中身を見ないでテーマだけを参考に本を借りてもらい、好評であった。 ・根形、平岡公民館図書室においても、夏休み中に「宿題おたすけコーナー」を設置し、児童の利用促進を図った。 	⑧市民登録率 (%)	60	45.1	B
	⑨資料貸出数 (点/年)	720,000	583,404	A
	⑩市民一人当たりの貸出数 (点/人)	11.5	9.4	A

内 部 評 価	<p>○全体評価 : B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書購入タイトル数は、目標値に対する達成率だけを見ればC評価であるが、平成26年度よりさらに減少していた理由としては消費税が8%になったことが挙げられる。また、当初の目標値の設定年度である平成23年度より図書購入費自体が2割近く減少しており、目標値が現状に合わないものになっている。図書購入冊数13,366冊に対し、約85%のタイトル数を確保できたことからB評価とした。 ・市民一人当たりの図書貸出冊数は、余暇時間の減少などの理由により減少しているが、県内では未だ上位の水準にある。また、催し物や社会教育関係機関等と連携した貸出企画などを行った結果、平成26年度から利用者数は増加傾向にある。利用者数が増加しているにも関わらず貸出冊数が減少している原因は、少子高齢化や余暇時間の減少により、利用者1人当たりの貸出冊数が減少しているためと考えられる。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民新規登録者数については、ここ数年は1,000人強にとどまっており、目標値を大きく下回っている。今後も引き続き新規利用者の掘り起こしを行うとともに、市民の生活様態も変化してきている中で、貸出冊数を増やすための、資料提供へ結びつける取り組みを行なっていく必要がある。 ・読書普及事業や、学校との連携事業の中で、事業への参加だけでなく、資料の利用促進を図るための働きかけを増やしていく必要がある。 <p>○今後の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度から始めるブックスタート事業においても、参加者に働きかけを行い、図書館利用につながるよう努める。 	外 部 評 価
------------------	--	------------------

○全体評価 : B

○図書館協議会からの意見

- ・利用人数は増加している一方、貸出冊数は減少している。これは県内他市図書館においても同様の状況であるが、原因についてさらに分析し、貸出増に結びつく取り組みをさらに進めてほしい。
- ・新規登録者の目標値については、市の転入者が年間約2,000人という状況であり、目標値の設定自体を後期計画では見直すべきである。その他、外的な止むを得ない要因によりサービス網計画策定時から状況が変わった指標については、目標値を見直した方がよい。とはいえ、県立袖ヶ浦高等学校との各事業での連携が充実しているにもかかわらず伸び悩んでいるなど、さまざまな取り組みが新規登録に結びつかない理由についても分析していただきたい。

サービス目標（２）社会情勢の変化に対応したサービスの充実

サービス内容	H. 27 年度 取り組み内容	サービス指標	目標値 (H. 27)	実績 (H. 27)	内部評価
<p>①情報化社会への対応</p> <p>情報化の進展に伴い、電子媒体の利用を進め、印刷媒体とインターネット等による電子媒体を組み合わせ利用できる図書館サービスを目指すとともに、市民が十分活用できるようにするため、利用の案内や支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースについては朝日新聞データベース、法情報サービスに加え、新たに平成27年度から日本経済新聞データベースを導入し、環境整備を行った。 ・国立国会図書館デジタル資料閲覧サービスを中央、長浦において6月2日より開始した。 (平成27年度閲覧者数18人、複写件数19件、複写資料タイトル数28タイトル、614枚) ・メールマガジンの配信サービスを9月より開始した。(登録者 64名) ・ホームページアクセス件数、Web予約件数は増加している。 	<p>⑪一日当たりの ホームページ アクセス件数 (件/日)</p>	250	271	A
		<p>⑫一か月当たりの Web予約件数 (件/月)</p>	2,100	2,140	A

<p>②学校図書館への対応</p> <p>子どもの読書活動や学習活動を推進する上で学校図書館の活用が進んでいます。</p> <p>図書館は学校からの依頼に応じて、団体貸出、レファレンスサービスを行うほか、学校を訪問しておはなし会や読み聞かせ、調べ学習を支援するなどの協力により、学校図書館への支援を積極的に行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館への団体貸出については、新たに国際協力（小学校2校）や環境・エネルギー（昭和中学校）に関する問い合わせがあり、これらの分野については資料が豊富なため、貸出冊数が飛躍的に増加した。一方で学級文庫の読み物や絵本のセット貸出は、定期的な依頼が2校（長浦小・中川小）にとどまり、減少した。（学校図書館の読み物が充足したために、学級文庫がなくなった。または学校図書館から学級へ図書の貸出を行っている学校がある。） 学校図書館支援センターへ、学級文庫用資料の活用について、各学校の読書指導員に改めてお願いしてもらおうよう依頼した。 	<p>⑬学校図書館への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 団体貸出（冊/年） 	<p>10,000</p>	<p>6,015</p> <p>（学校図書館へのセット貸出を含む）</p>	<p>B</p>
	<p>（参考）</p> <p>学校図書館への貸出件数及び冊数</p> <p>H25年度 175件 3,788冊</p> <p>H26年度 147件 2,506冊</p> <p>H27年度 130件 4,765冊</p> <p>学校図書館へのセット貸出</p> <p>H25年度 1,136冊</p> <p>H26年度 2,246冊</p> <p>H27年度 1,250冊</p> <p>（セット貸出は、除籍資料を再利用している。）</p> <ul style="list-style-type: none"> 出張おはなし会の参加者数については、この3年間は回復傾向にある。 	<p>⑬学校図書館への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校への出張おはなし会（人/年） 	<p>8,000</p>	<p>5,777</p>	<p>B</p>

<p>③高齢化社会への対応</p> <p>急速に進展する高齢化に対応するため、高齢者に配慮した施設の整備、資料等の整備を図ります。</p> <p>また、老人福祉施設等の関係機関・団体との連携を図りながら、高齢者クラブ、各種講習会の場において、高齢者へのPRを推進し、高齢者の立場に立ったきめ細かな図書館サービスの拡充を図ります。</p>	<p>・大活字本を37タイトル購入し、高齢者に配慮した資料等の整備に努めた。</p> <p>大活字本購入実績</p> <p>H25年度 142冊 61タイトル H26年度 124冊 41タイトル H27年度 77冊 37タイトル</p> <p>・大活字本の貸出の減少への対策として、3月に大活字本の案内のポスターを書架案内図を入れて作成し、各館に掲示してPRに努めた。また根形図書室については、大活字本リストを備えるとともに、他館からの取り寄せができる旨の案内を掲示した。</p> <p>・平川公民館と共催で秋のトショロ月間に「あんしん終活のすすめ」の講座を開催し好評であった。参加者41名。</p>	<p>(参考)</p> <p>・大活字本の貸出冊数 H24年度 2,773冊 H25年度 4,177冊 H26年度 4,386冊</p> <p>・朗読CD貸出点数 H24年度 1,915点 H25年度 1,976点 H26年度 1,936点</p>	<p>・大活字本の貸出冊数 4,077冊</p> <p>・朗読CD貸出点数 2,000点</p>	<p>B</p>
---	---	--	--	----------

<p>④関連施設・関係課との連携</p> <p>他の公共図書館との連携を強化し、また、学校図書館、博物館などの図書館以外に資料収集を行っている施設との連携を強化します。</p> <p>また、子育て支援を推進し、図書館利用が図れるよう公民館や関係課との連携を強化します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県内で所蔵していない図書のリクエストについて、国会及び大学を含む県外図書館2館から借り受けて対応したほか、3件の国立国会図書館への資料複写依頼に対応した。 「夏のトショロ月間」において、平成26年度に引き続き、袖ヶ浦高校の生徒が製作したアニメーション作品を上映したほか、ボランティアと一緒におはなし会で絵本の読み聞かせを行った。また秋のトショロ月間では中央の青少年コーナーに、図書委員のおすすめ図書展示を行った。 「秋のトショロ月間」において、中央館図書室内で根形中学校生徒の美術作品の展示、長浦の1階市民ギャラリーで長浦中学校の美術作品展示を行った。 根形公民館まつりで、公民館図書室において図書室職員の発案により「トショロのまちがいさがし」を開催し、参加者は54名。参加者に「紙コップロケット」を記念品として配布し、好評であった。 平岡公民館まつりで、公民館図書室において図書室職員の発案により「すきすき絵本タイム」「トショロのぬりえのしおりづくり」を実施、しおりづくりには39名の参加があった。 郷土博物館企画展「妖怪にあいに行こう」に関連して、中央図書館で資料展示「もののけ伝説」を実施、子ども映画会「おばけのてんぷら」「キャスパー」を上映した。またアクアラインなるほど館夏休み特別企画展に関連し、調べ案内「夏の星空」(児童用)を作成、配布した。 	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> 郷土博物館、小中学校、公民館、博物館、県立袖ヶ浦高等学校など教育機関との連携については前年度より充実させることができた。 子育て支援機関との連携については、袖ヶ浦子ども館への出張おはなし会を12回実施し158名の参加があった。また、わくわく子どもフェスティバルでのおはなし会を3回開催し、450名の参加があった。 	<p>A</p>
---	--	----------	---	----------

<p>⑤国際化への対応</p> <p>国際化が急速に進展する中、市民が外国の文化等を理解するための資料、また、外国人が日本文化を理解するための外国語資料の充実を図り、外国語による利用案内等を作成します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の代表的な文豪の作品など英語の資料を18冊購入した。 ・英語版図書館利用案内を作成した。 ・外国語図書の貸出冊数については、洋書絵本の貸出が減少している。洋書絵本については1冊の価格が高価であるため新刊への更新が難しいこともあり、洋書絵本を利用してきた方の中には関心のある蔵書について読み終えてしまっているなどの状況も考えられる。 	<p>【参考】</p> <p>・外国語図書の貸出冊数</p> <p>H24年度 624冊 H25年度 847冊 H26年度 1,007冊</p>	<p>・外国語図書の貸出冊数</p> <p>536冊</p>	<p>B</p>
<p>⑥職業能力開発の要求への対応</p> <p>産業構造・労働市場の変化等により就職、転職、能力開発、日常の仕事等で図書館を利用する人が増加しています。こうした利用者に対応するための資料の収集・提供、適切なレファレンスの実施等、個人の学習ニーズに応える機能を高めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ方案内「くらしに役立つ法律情報」を作成し、特設コーナーを設置し配布したほか、ホームページにも掲載した。 ・青少年自助自立支援機構で発行する、高校生向けに進路を紹介する雑誌「コンパスナビマガジン」を、中央、長浦、平川で受け入れた。 	<p>—</p>	<p>・就業支援、能力開発等の資料について、さらにPRしていく必要がある。</p>	<p>B</p>

<p>⑦レファレンスサービスの充実と利用促進</p> <p>課題解決支援機能を充実させるためには、利用者が直面する課題や問題を的確に捉え、図書館資料を駆使し、情報を広範囲にわたって調査し、確実に収集することが重要です。</p> <p>図書館は受け身で利用者の来館を待っているだけでなく、関係機関や団体と連携・協力をしながら、積極的に情報発信を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市長部局、教育委員会の各課に調査研究、情報収集等のサービスについて案内を送付した。 ・児童を対象に「昔の暮らしを調べる」「夏の星空～星ってどこから生まれるの?～」、一般を対象に「暮らしに役立つ法律情報」についての調べ案内を作成し、配布したほかホームページに掲載した。 ・「袖ヶ浦市に関する新聞記事一覧 平成26年度(2014)」を5月に作成し、ホームページに掲載した。 <p>また、平成26年4月分より、月ごとに「袖ヶ浦市に関する新聞記事一覧」をホームページに掲載し、地域の情報提供を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちや親子の来館が多い土日には、中央図書館児童カウンターに職員を配置し、レファレンスに対応している。 	<p>⑭レファレンス件数 (件/年)</p>	<p>500</p>	<p>795</p>	<p>A</p>
--	--	----------------------------	------------	------------	----------

内 部 評 価	<p>○全体評価 : B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OPAC操作講習会、法情報データベース講習会を開催することにより電子媒体の利用を促進し、課題解決支援を行った。また、メールマガジンを配信するなど、利用促進のための情報提供を行った。 ・学校への団体貸出については、平成24年度以降減少傾向にあったが平成27年度は回復した。目標値には及ばずC評価ではあるが、学級文庫へのセット貸出冊数を加えるとB評価となる。 ・平岡公民館図書室に大活字本コーナーを設置し好評であった。 ・レファレンスサービスの受付件数については、着実に増加してきている。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語図書の貸出冊数の減少については、洋書絵本の減少が大きい。原因としては、中央図書館児童室に子育て応援コーナーを開設するにあたり洋書絵本の書架スペースを減らしたこと、新規の購入が少ないため、来館する外国人の子どもには開架のものは概ね読まれてしまったこと等が考えられる。しかし、1冊当たりの単価が高価であるため、継続的な新刊購入は難しい。 ・国際化への対応、職業能力開発の要求への対応については、資料面での充実を図るとともに積極的なPRを行っていく必要がある。 <p>○今後の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洋書については、図書購入全体のバランスを考慮しつつ、新刊の継続的な購入を検討していく。 ・各課題に対する資料提供や調べ方案内の作成、環境整備等様々な取り組みを行っている。これらの取り組みがさらに周知されるように、メールマガジンの活用や関係機関と連携した効果的なPRを推進する。 	外 部 評 価
------------------	--	------------------

○全体評価 : A

○図書館協議会からの意見

- ・多面的である社会情勢に即したさまざまな取り組みを展開しており、評価できる。外国語図書の貸出冊数の減少については、更なる現状分析を行い、何らかの対策を検討されたい。

サービス目標（3）利用者に応じたサービス

サービス内容	H. 27 年度 取り組み内容	サービス指標	目標値 (H. 27)	実績 (H. 27)	内部評価
<p>①子どもたちのために</p> <p>豊かな心を育てるため、また、社会の変化に主体的に対応するため、学校、幼稚園、保育所等との連携を図りつつ、「袖ヶ浦市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもたちへのサービスを推進します。</p> <p>また、児童・青少年サービスを効果のあるものとするため、PTAや子ども会、子どもの読書活動を推進する団体・グループやボランティアとの連携強化に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「こどもの読書週間」前後に全館でスタンプラリーを開催した。延べ981人が参加し、20冊到達者419人に手作りの記念品を手渡した。 ・すきすき絵本タイムについて、公民館、市民会館の幼児家庭教育学級でチラシを配布した。また、市役所、市内保育所、幼稚園、子育て支援センター等市内22か所にチラシを置いている。 ・夏のトショロ月間では市内の3図書館、公民館図書室については公民館まつりにおいて子ども向け事業を実施し好評であった。(のべ1, 309名の参加) <p>おしえて！きみのすきな本 7/18～8/20 490名 中央館：子ども寄席 7/28 53名、フェルトでケーキの小物入れをつくろう 8/5 31名、ちょっぴりこわいおはなし会 8/7 24名、夏休みおはなし会 5回 138名（夏休み期間の水曜日） 長浦：井上博士の理科教室 8/6 31名、なつやすみとしょかんであそぼう 7/30 135名、夏休みおはなし会 5回 23名（夏休み期間の火曜日） 平川：紙花教室 8/9 34名 根形：トショロのまちがいさがし 10/31 54名 平岡：しおりづくり 11/1 39名 ほか、定例のおはなしのへやなど</p>	<p>⑮児童サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート (回/年) <p>H. 25年度より「すきすき絵本タイム」に変更</p>	12	26	A
		<p>⑮児童サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わらべうた、えほんのへや (回/年) 	35	36	A
		<p>⑮児童サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会【館内】 (回/年) 	85	103	A
		<p>⑮児童サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会【館外】 (回/年) 	300	371	A
		<p>⑯青少年サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お薦め本リストの発行 (回/年) 	2	2	A

<p>②高齢者のために</p> <p>高齢者に配慮した施設の整備とともに、大活字本、拡大読書器などの資料や機器・機材の整備・充実に努めます。</p> <p>また、社会福祉協議会、高齢者クラブ等の関係機関・団体と連携を図りながら、映画会、講習会等の読書普及事業の実施、図書館利用の際の介助など、きめこまかな図書館サービスの提供に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大活字本37タイトルを購入したほか、文芸作品の朗読CD16タイトルを購入した。 ・名画鑑賞会を中央、長浦、平川で定期的に上映し、各館ともに参加者は増加している。 <p>また、秋のトショロ月間において、中央館では狂言等の古典芸能作品を、長浦と平川ではミュージカル映画を企画上映した。中央館での古典芸能については、参加者が少なかったものの、図書館ならではの特色ある企画であったと大変好評であった。</p> <p>名画鑑賞会参加者合計</p> <p>H25年度 44回 2,257人 H26年度 51回 2,325人 H27年度 52回 2,536人 (H26、27年度は秋のトショロ月間による開催を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平川公民館と共催で秋のトショロ月間に「あんしん終活のすすめ」をテーマに開催し、高齢化社会における課題解決のための講座を実施した。 <p>参加者41名。</p>	<p>⑰高齢者サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大活字本 所蔵タイトル数 (タイトル) 	<p>700</p>	<p>1,057</p>	<p>A</p>
---	---	--	------------	--------------	----------

<p>③図書館利用に障害のある人のために (視覚・聴覚・肢体・学習、施設入所者等) 障害のある利用者に配慮した施設の整備を進めるとともに、障害のある利用者が資料利用を可能にする機器・機材の整備・充実に努めます。 また、関係機関・団体との連携をとりながら、手話サービス、対面朗読、宅配サービス等、きめこまかな図書館サービスの提供に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対面朗読サービスについては、市の広報への年1回のPRとは別に、おすすめ図書の欄にも案内記事を掲載したが、申し込みはなかった。 ・宅配サービスについては、宅配前にあらかじめ職員から利用者の希望を聞く、あいまいな要望に対してはレファレンスを行うなど利用者のニーズを十分把握するように努め、利用人数、冊数ともに増加した。(利用者は8名、H26より2名の増、1名の減) ・県立図書館からデイジー図書を借用して提供した。(32タイトル) 	<p>⑩障害者サービスの充実 ・宅配サービス (冊/年)</p>	<p>150</p>	<p>408</p>	<p>A</p>
--	--	--	------------	------------	----------

<p>④主体的に学ぶ市民のために</p> <p>市民の自主的、自発的な学習活動を支援するために、各種講座・講演会、名画鑑賞会、資料展示等を主催するとともに、公民館や博物館等の社会教育機関、学校、民間の関係機関との共催事業等、多様な学習機会の提供に努めます。</p> <p>また、市民の情報活用能力の向上を支援するため、学習機会の提供に努めます。</p> <p>a. 余暇活動支援 b. 学習生活及び調査研究支援 c. IT支援 d. 行政支援 e. ビジネス支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文芸講座、著者を囲む会、資料展示、名画鑑賞会等の読書普及事業を実施し、多くの参加者があり、好評であった。また、夏と秋に2回、「トショロ月間」を全館で開催し、各々約1か月間にわたり、講演会や工作教室、映画会やおはなし会などの事業を開催し、延べ2,470人の参加を得た。また、児童対象に「おしえて!きみの好きな本」、成人対象に「あなたの好きな名探偵は?」など、利用者参加型の催しを全館で開催した。 ・映画会の上映作品を資料展示や文芸講座の内容に関連させるなど、読書普及事業相互のテーマを関連付けて実施し、利用目的に応じた読書普及の充実を図った。 ・読書普及事業の実施だけでなく、参加者相互のコミュニケーションを図るために、映画会終了後にシネマトーク(中央で2回、長浦、平川で1回ずつ開催計15名参加)、文芸講座において、講座終了後に懇話会を開催した(10名の参加)。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ案内の作成や資料提供等の支援を行い、関係機関やボランティア、サークルとの共催や連携によりさまざまな事業を実施している。 ・就業支援、能力開発等の資料について、さらにPRしていく必要がある。 	B
<p>⑤サークル活動をする人のために</p> <p>市民が図書館資料を共有する中で交流し、暮らしに根ざした自主的な活動を展開していくことは、地域の文化活動を豊かにします。図書館では市民の文化活動、コミュニケーション活動の拠点として、図書館資料、施設を利用して活動するサークルに対して、その活動を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループサークル「むかしむかしの会」との共催で、おはなし会事業を毎年3回実施している。 ・「秋のトショロ月間」において、グループサークルへ参加を呼びかけ、「朗読サークル萌」の朗読コンサート(参加者30名)、「むかしむかしの会」による大人のためのおはなし会(参加者39名)、2団体の作品展示を実施した。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・秋のトショロ月間は、展示や朗読コンサート等、サークル活動の成果を発表する機会として積極的に活用されている。1か月間という期間にわたり展示や発表の機会を提供できるようになり、より参加しやすくなった。 	A

<p>⑥ボランティア活動をする人のために</p> <p>ボランティアの自主性や自発性を尊重するとともに、国際化、情報化等社会の変化への対応や、児童・青少年、高齢者、障害者等、多様な利用者に対する図書館サービスを展開していくため、ボランティアとして参加しやすい環境づくりに努めます。</p> <p>また、ボランティア活動への参加を促進するため、活動の場などに関する情報の提供や、養成・研修の実施に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会ボランティアについては、新規ボランティア養成講座（初級編）を開催した。学校ボランティアへの参加も呼びかけるなどして20名の参加があった（学校ボランティアからの参加は3名）。参加者のうち11名が平成28年度から新たにおはなし会ボランティアとして登録することになった。 ・社会教育推進員、ボランティア、図書館協議会委員との合同で、先進地への視察研修を実施した。（視察先：稲城市立iプラザ図書館、調布市立中央図書館参加者 12名） 	<p>⑬図書館ボランティアの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会ボランティア（名） 	50	19	B
		<p>⑭図書館ボランティアの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朗読ボランティア（名） 	20	4	C
		<p>⑮図書館ボランティアの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートボランティア（名） 	30	13	C

内 部 評 価	<p>○全体評価 : B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童、高齢者、宅配サービスについては概ね目標値を達成している。 ・青少年サービスについては、県立袖ヶ浦高校の協力を得て、新入生オリエンテーション時の利用案内の配布、夏休みトショロ月間のおはなし会への生徒の参加、青少年コーナーへのおすすめ図書の展示など、平成26年度に引き続き、様々な連携を行うことができた。また、ティーンズトショロ裏面に中央図書館の書架案内図を掲載するなど、積極的なPRを行った。 ・映画会、資料展示、文芸講座など事業相互のテーマを関連付けて実施し、利用目的に応じた読書普及の充実を図ったほか、参加者相互のコミュニケーションを図るため、映画会終了後にシネマトーク、文芸講座の終了後に懇話会を開催した。 ・根形、平岡公民館図書室において、各々の公民館まつりの中で催しを開催し好評であった。また、秋のトショロ月間期間中には、大人向けに「本のおたのしみ袋」を用意するなど、図書室ならではの独自の催しを行い、多くの利用があった。 ・おはなし会ボランティアについては、新規ボランティア養成講座（初級編）を開催し、20名の参加があった。そのうち11名が平成28年度から新たにおはなし会ボランティアとして登録しており、平成28年度は引き続き養成講座（中級編）を受講する予定である。これにより、平成28年度のおはなし会ボランティア登録者数は23名となった。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平川図書館、根形・平岡公民館図書室において、資料の整備や大人向け、子ども向けにさまざまな事業を開催するなど、担当者の協力を得て積極的に取り組みを行い、好評であった。今後もさらにPRを行うなど参加しやすい環境を整えていく必要がある。 ・おはなし会ボランティアについて今後も継続して養成していくとともに、その他の事業についても、市民が参加することによって事業の充実を図るようボランティアの養成を更に推進していく必要がある。 <p>○今後の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会ボランティアの養成講座を継続して行う。（ボランティア養成講座中級編の実施） ・新規にボランティアを養成し、映画会等の図書館事業にも市民に参加してもらうことにより、より市民の要望に沿った事業を開催できるようにする。 	外 部 評 価
		<p>○全体評価 : A</p> <p>○図書館協議会からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・⑥のボランティアの育成についてのみC評価となっているが、利用の実態や5年間の実績推移を踏まえると、目標値の設定自体に問題があると思われる。新規に養成講座を開催する等増員のための取り組みは実施されており、今後は必要な人員数について精査されたい。 ・ボランティアの養成については、図書館活動のサポート的な役割を担うサークル活動と、新たに育成するボランティアの位置づけを考慮し、今後のボランティア活動の全体像を描いて取り組んでいただきたい。